優秀賞

電子署名で完全ペーパーレス！
～申請から検査済証交付までをDX、GX化～

兵庫県　姫路市消防局

事例類型	Ⅶ デジタル化
取組期間	令和6年4月から

背　景

姫路市では、Society5.0時代の先端技術を生かし、行政サービスの利便性の向上や地域課題の解決、行政事務の効率化が図られている姿を目指し、「スマート自治体の推進」を政策に掲げている。この政策を踏まえ、消防局では、各種手続における電子申請等の拡充、デジタル機器を活用したオンライン検査、防火管理講習オンライン化を図っている。

当局における防火対象物の使用開始に係る検査は、「消防用設備等設置検査」と「使用開始検査」である。これに係る「各種届出の受理→届出書類の内容確認→検査→検査結果通知書の交付→決裁→検査済証の交付」の手続を全て「紙」で行っていた。

上記手続を進めることによる事務的・経費的負担が大きいことに加え、管理する防火対象物の増加とともに図面（行政文書）の保管スペースがひっ迫されていくことが目下の課題であった。

内　容

令和3年度に、火災予防分野の各種手続における電子申請等の導入をスムーズにすることを目的に、本部予防課員と各署予防事務担当者で構成するプロジェクトチームを立ち上げ、電子申請の導入による業務プロセスの構築と電子申請の導入により必要となる機材（ディスプレイ等）の洗い出しを行った。

並行して、検査済証を電子交付するために、LGPKI（地方公共団体における組織認証基盤）より消防長、消防署長の電子署名（職責証明書）を取得した。

成　果

電子化における大きな課題のひとつであった公印押印に関して、電子署名を付与することが可能となったことから、検査済証や防火管理オンライン講習の修了証の電子交付も可能となり、「各種届出の受理～検査済証の交付」までの事務のDX化（業務フローの改善）とGX化（ペーパーレス化）を図ることができた。

以下に、成果として得られた事務フローを示す。下線を付したものは、本取組により整備したものである。

（1）届出受理

・姫路市オンライン手続ポータルサイトにて電子申請（令和6年12月現在、防火管理や各種点検結果報告の届出、審査を要する着工届、検査を要する設置届出等　計18様式を電子申請で受付している。令和6年中の電子申請受付実績は、多い順に消防訓練実施届1,281件、消防用設備等点検結果報告370件、消防計画作成（変更）届125件であり、総計2,132件であった。）

・申請者に対して申請を受理した旨の自動返信機能あり

・任意の時間にまとめて受付処理をすることができるため、事務的負担が軽減

（2）書類の確認

・書類をダウンロード

・図面審査用ソフト（ペンコネクト）と液晶ペンタブレットを用い、大型ディスプレイ（23インチ）に図面を映し出し、内容を確認→内容の修正がある場合はメールでやりとり

（3）検査

・検査用端末に検査書類を転送し、現地確認検査

（4）検査結果の通知

・検査用端末で、検査結果通知書を作成し、検査立会者からタッチペンで署名をもらう（画面に書き込み）

・帰署後、検査立会者に検査結果通知書を電子メールで交付

（5）電子決裁及び電子管理

・検査関係書類を電子決裁後、電子管理用の台帳として電子保管

・図面保管スペースのひっ迫が緩和

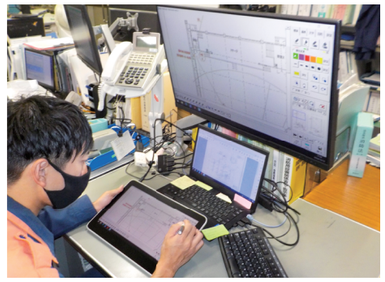
（6）検査済証の交付

・電子署名を検査済証に付与

・検査立会者に検査済証を電子メールで交付

・対面手交に比べて事務的負担が軽減

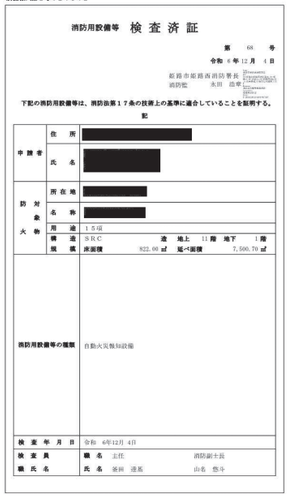
電子申請広報



液晶ペンタブレット、大型ディスプレイ、
図面審査用ソフト

検査用端末による検査風景

検査用端末で作成した検査結果通知書への
署名風景



別記様式第１号の２の３の２

消防用設備等　検査済証

第　68　号
令和６年12月４日

姫路市姫路西消防署長
消防監　米田　浩平

下記の消防用設備等は、消防法第１７条の技術上の基準に適合していることを証明する。

記

申請者	住所	[redacted]
	氏名	[redacted]
防火対象物	所在地	[redacted]
	名称	[redacted]
	用途	１５項
	構造	鉄筋C　造　地上　３階　地下　１階
	規模	床面積　822.00 ㎡　延べ面積　7,500.70 ㎡
消防用設備等の種類	自動火災報知設備	
検査年月日	令和　6年12月　4日	
検査員職氏名	職名　主任　消防副士長	
	氏名　茶園　達基　山名　悠斗	

検査済証（電子署名）

特記事項

依然、紙での申請等が多いことは課題であるが、完全ペーパーレス化を選択肢のひとつとして実現できたことは、申請者等の利便性の向上に大きく寄与したと考えている。